令和４年度社会福祉法人雪国ボラントピア事業報告

Ⅰ【法人の運営状況】

1　理事会・評議員会

開催日　令和４年６月３日（理事会）
会　場　障害者支援施設マイトーラ会議室
議　案　・令和３年度社会福祉法人雪国ボラントピア事業報告について
　　　　・令和３年度社会福祉法人雪国ボラントピア会計決算について
　　　　・定時評議員会の招集日程等について
　　　　・社会福祉充実計画について
報告事項・理事長及び業務執行理事の職務執行状況について
　　　　・社会福祉法人雪国ボラントピア社会福祉充実計画の執行状況について
　　　　・その他
開催日　令和４年６月２３日（定時評議員会）
会　場　障害者支援施設マイトーラ　会議室
議　案　・令和３年度社会福祉法人雪国ボラントピア事業報告について
　　　　・令和３年度社会福祉法人雪国ボラントピア会計決算について
報告事項・社会福祉法人雪国ボラントピア社会福祉充実計画の進捗状況について
開催日　令和４年１２月７日（理事会）
会　場　書面による提案に基づく同意にて議決
議　案　・令和４年度社会福祉法人雪国ボラントピア第１次資金収支補正予算（案）について
　　　　・評議員退任に伴う候補の推薦について
開催日　令和５年３月２８日（理事会）
会　場　障害者支援施設マイトーラ　会議室
議　案　・令和４年度社会福祉法人雪国ボラントピア第２次補正予算（案）について
　　　　・令和５年度社会福祉法人雪国ボラントピア事業計画（案）について
　　　　・令和５年度社会福祉法人雪国ボラントピア会計予算（案）について
　　　　・障害者支援施設マイトーラ運営規程の改正（案）について
　　　　・指定障害者福祉サービス短期入所事業所マイトーラ運営規程の改正（案）について

2　監　査

開催日　令和４年５月２３日
会　場　障害者支援施設マイトーラ　相談室

監査事項　・令和３年度の理事の業務執行の状況および財産の状況について監査を実施した。

３　幹事会

特別に協議戴く重要案件等が無かったため、「事業計画と予算並びに事業報告と決算」等での報告で幹事会に代えた。

【利用者（入所者）の状況】　　　令和５年３月３１日現在

市　郡　名	市町村名	人　数	男・女別	（内低肺機能者）
南魚沼市		１５名	男　８・女　７	
魚沼市		８名	男　４・女　４	
南魚沼郡	湯沢町	３名	男　１・女　２	
中魚沼郡	津南町	１名	男　１・女　０	
十日町市		１０名	男　６・女　４	
上越市		１名	男　０・女　１	
長岡市		３名	男　２・女　１	
柏崎市		２名	男　２・女　０	
新発田市		１名	男　１・女　０	
東京都		２名	男　２・女　０	
小千谷市		４名	男　１・女　２	
		４９名	男２８・女21	（男　　・女　　）

市町村別入所者・人数（R4.4.1～R5.3.31）

南魚沼市	１名
十日町市	２名
湯沢町	１名
小千谷市	３名

市町村別退所者・人数（R4.4.1～R5.3.31）

南魚沼市	４名
十日町市	１名
魚沼市	１名

【事業の稼働率】　　　（単位：％）

	入所支援	生活介護		入所支援	生活介護
R4/4	77	83	11	76	80
5	77	83	12	76	79
6	78	83	R5/1	77	82
7	77	83	2	73	80
8	75	82	3	74	81
9	73	79			
10	75	81	年間	76	82

【短期入所事業の利用状況（R4.4.1～R5.3.31)】

１．短期入所

総利用延人数	一日平均人数	前年度実績
1,057	2.89	968/2.63

月　　　別	R4/ 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R5/ 1	2	3
延　人　数	73	86	111	84	70	133	151	66	26	84	84	89

【月別面会状況（R4.4.1～R5.3.31)】

月　　　別	R4/ 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R5/ 1	2	3
延　人　数	18	7	17	19	6	3	8	2	5	1	4	4
一　日　平　均	0.6	0.2	0.6	0.6	0.2	0.1	0.3	0.1	0.2	0	0.1	0.1

※　コロナ感染予防策にて窓越し面会とオンライン面会

※　６月、７月は通常の面会を一時再開

【入所者の障害支援区分表（R5.3.31 現在)】　重複あり

	区分１	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性利用者	0	0	1	6	7	14	28
女性利用者	0	0	1	3	3	14	21

入所者の障害起因疾患名（R5.3.31 現在)】　重複あり

疾　患　名	人数（人）	比率（%）
脳性麻痺	11	22
頸椎損傷	5	10
出血性脳血管障害	4	8
脊髄小脳変性症	2	4
虚血性脳血管障害	6	12

脳挫傷	3	6
知的障害・ダウン症	2	4
低酸素脳症	2	4
精神疾患	4	8
白質脳症	1	2
脳腫瘍	2	4
急性硬膜外血腫	1	2
高次脳機能障害	1	2
シャリコマリーツース病	1	2
精神遅滞	1	2
筋ジストロフィー	1	2
パーキンソン病	1	2
モヤモヤ病	1	2
合　計	49	100

【年齢別・男女別人員構成（R5.3.31 現在)】

	男性	女性	合計	比率（%）
18歳以上20歳未満	0	0	0	0
20歳以上30歳未満	0	0	0	0
30歳以上40歳未満	1	0	1	2
40歳以上50歳未満	5	1	6	12
50歳以上60歳未満	10	6	16	33
60歳以上70歳未満	8	6	14	29
70歳以上80歳未満	4	6	10	20
80歳以上	0	2	2	4
合　計	28	21	49	100
最高年齢	78	84		
最小年齢	39	49		
平均年齢	59.8	66.4	63.1	

【法人・施設事業実施状況一覧表（令和４年度）】

実施日	実　　施　　内　　容
4月13日	職員健康診断
5月12日	冷暖房切替作業
5月23日	法人役員（監事）による監査
5月25日	新潟県知事選挙不在者投票
5月28日	消防設備点検
6月3日	理事会開催
6月22日	下水道サーベイランス実証実験現地調査
6月23日	定時評議員会開催
6月30日	消防避難訓練、消防設備点検
7月6日	参議院議員選挙不在者投票
8月5日	コロナワクチン接種４回目　第１班（利用者）
8月18日	コロナワクチン接種４回目　第２班（利用者）
8月20日	イベント「納涼祭」
9月5日	南魚沼消防署本部立入検査
9月7日	自治会主催「焼肉大会」
9月12日	コロナワクチン接種４回目　第１班（職員）
9月13日	コロナワクチン接種４回目　第２班（職員）
9月15日	コロナワクチン接種４回目　第３班（職員）
9月16日	コロナワクチン接種４回目　第４班（職員）
10月14日	冷暖切替作業
10月15日	職員健康診断（特定業務従事者）
10月19日	消防避難訓練、消防設備点検
11月17日	入所者対象インフルエンザ予防接種
12月7日	書面同意による理事会
12月15日	コロナワクチン接種５回目（利用者）
1月12日	コロナワクチン接種５回目　第１班
1月19日	コロナワクチン接種５回目　第２班
1月26日	コロナワクチン接種５回目　第３班
3月28日	理事会開催
3月29日	南魚沼市社会福祉法人等指導監査
※　階段昇降機・ダムウエーター・電気設備・消防設備は、定期点検実施。	

【職員研修・会議出張状況（令和４年度)】

開催日	氏　　名	内　　　容（用件）	行　先	所　属
4月19日	池田　和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課　長
4月21日	池田　和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課　長
5月11日	全職員	施設内研修「クリーン作戦」		
5月17日	池田　和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課　長
5月18日	井口　隆人	八海高等学校福祉課特別講義	南魚沼市	施設長
5月19日	池田　和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課　長
6月8日	池田　和幸	南魚沼地域施設感染対策検討会　オンラインにて		
6月16日	池田　和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課　長
6月17日	井口　隆人	新潟県身体障害者施設協議会施設長・庶務課長会議	長岡市	施設長
	星　優	新潟県身体障害者施設協議会施設長・庶務課長会議	長岡市	課　長
6月20日	井口　隆人	南魚沼市社会福祉協議会定時評議員会	南魚沼市	施設長
6月21日	池田　和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課　長
6月27日	山﨑　望	新潟県相談支援従事者初任者研修　オンラインにて		
7月6日	山﨑　望	サービス管理責任者基礎研修　オンラインにて		
7月14日	池田　和幸	魚沼圏域障害者地域生活支援連絡調整会議　オンラインにて		
7月19日	池田　和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課　長
7月21日	池田　和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課　長
8月16日	池田　和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課　長
8月18日	池田　和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課　長
	山﨑　望	サービス管理責任者基礎研修　オンラインにて		
9月2日	全職員	施設内研修「口腔ケア」		
9月14日	池田　和幸	南魚沼地域施設感染対策検討会　オンラインにて		
	髙橋　宏伸	南魚沼地域施設感染対策検討会　オンラインにて		
9月15日	池田　和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課　長
9月20日	池田　和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課　長
9月28日	井口　隆人	安全運転店管理者等講習会	南魚沼市	施設長
10月7日	池田　和幸	新潟県身体障害者施設協議会支援担当課長会議	長岡市	課　長
	山﨑　望	新潟県身体障害者施設協議会支援担当課長会議	長岡市	相談員
10月18日	池田　和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課　長
10月19日	全職員	施設内研修「クリーン作戦」		
10月20日	池田　和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課　長
	井口　隆人	下水道サーベイランス実証実験意見交換会　オンラインにて		
10月27日	関係職員	施設内研修「感染対策」　第１班		

	池田　　和幸	相談支援従事者現認研修	新潟市	課　長
10月31日	関係職員	施設内研修「感染対策」　第２班		
11月１日	関係職員	施設内研修「感染対策」　第３班		
11月15日	池田　　和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課　長
11月17日	池田　　和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課　長
11月18日	池田　　和幸	相談支援従事者現認研修	新潟市	課　長
11月18日	全職員	施設内研修「救命救急」　第１班		
	星　　　優	新潟県身体障害者施設協議会庶務担当者会議	長岡市	課　長
	井口　　貴子	新潟県身体障害者施設協議会庶務担当者会議	長岡市	事務員
11月21日	全職員	施設内研修「救命救急」　第２班		
11月22日	全職員	施設内研修「救命救急」　第３班		
11月24日	全職員	施設内研修「救命救急」　第４班		
11月25日	井口　　隆人	関東・甲信越地区身体障害者施設総会・施設長会議	高崎市	施設長
12月14日	池田　　和幸	南魚沼地域施設感染対策検討会　オンラインにて		
	髙橋　　宏伸	南魚沼地域施設感染対策検討会　オンラインにて		
12月15日	池田　　和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課　長
12月20日	池田　　和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課　長
12月23日	池田　　和幸	相談支援従事者現認研修	新潟市	課　長
1月16日	井口　　隆人	湯沢町自立支援協議会	湯沢町	施設長
1月17日	池田　　和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課　長
1月19日	池田　　和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課　長
2月13日	林　　みどり	虐待防止研修　オンラインにて		
2月16日	池田　　和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課　長
2月21日	井口　　隆人	南魚沼市自立支援協議会全体会	南魚沼市	施設長
	池田　　和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課　長
2月24日	井口　　隆人	新潟県身体障害者施設協議会施設長・庶務課長会議	長岡市	施設長
	星　　　優	新潟県身体障害者施設協議会施設長・庶務課長会議	長岡市	課　長
3月８日	池田　　和幸	南魚沼地域施設感染対策検討会　オンラインにて		
3月13日	池田　　和幸	魚沼圏域障害者地域生活支援連絡調整会議　オンラインにて		
3月14日	池田　　和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課　長
3月16日	池田　　和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課　長
	井口　　隆人	関東・甲信越地区身体障害者施設総会・施設長会議	長野市	施設長
3月28日	井口　　隆人	南魚沼市社会福祉協議会評議員会	南魚沼市	施設長
3月29日	井口　　貴子	福祉施設・施設ボランティア情報交換会	南魚沼市	事務員
3月30日	全職員	施設内研修「虐待防止」		

	井口　　隆人	下水道サーベイランス実証実験意見交換会　オンラインにて		

【令和４年度事業計画による実施状況】

Ⅱ　重点項目

項目目標	年度末達成状況
１　施設の運営と継続事業他	
（１）施設の運営を安定させるため、利用者の確保に努めます。	→目標とした利用者確保には至らなかった。年間通しての稼働率は、入所支援７６％　生活介護８２％であった。
（２）コロナ禍においても感染予防対策等を徹底し、休業することなく施設の運営を継続できるよう努めます。	→本体施設の運営が停止することはなかったが、短期入所並びに生活介護事業は、保健所の指導にて停止する期間が数日あった。
（３）福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金制度を導入し、職員の更なる処遇の改善に努めます。	→今年度も予定通り制度を利用し、処遇改善に努めた。
（４)「地域における公益的な取組」を実施する責務については、加盟している新潟県社会福祉経営者協議会による「にいがたセーフティネット事業」を継続推進します。	→継続・推進したが、希望者がなく実施に至らなかった。
２　職員の定着と採用 　職員が安心して就業できる雇用環境の整備に努めます。また、不足している看護師、介護職員（支援員の欠員補充に努めます。加えて、内部研修の更なる充実を図り、職員の資質向上にも努めます。	→継続的な求人活動を実施した。有料紹介事業者の利用にて支援員の欠員補充ができた。また、看護師は、退職看護師の復帰にて欠員の補充ができた。 　内部研修は、計画通り実施できたが、更なる充実が必要である。
３　近隣地域との連携強化 　地域にお住いの方々との関係を構築すべく、施設広報の配布、福利車両の貸し出しや地域で開催している高齢者サロン事業に参加し、介護方法の講習を行う等を足掛かりに、地域に貢献することで連携に努めます。	→新型コロナウイルス感染症の施設感染予防を考慮した対応とした。 　施設広報の配布（欠之上全世帯 100 個所)。 　福祉車両の貸出しは、利用者の家族による利用が 2 回あった。 　地域の参加を求める「納涼祭」「文化祭」は、コロナ禍にて外部からの参加は求めなかった。
４　施設設備等の保全並びに修繕 施設設備等の保全と修繕については、中・長期計画の中で実施してまいります。	→収入の確保が見込めず、中・長期計画の作成に至らなかった。次年度の課題とした。
５　家族及び身元引受人等からの協力体制	

（1）施設の運営方針や個別支援計画を説明し理解と協力を求めます。	→個別支援計画作成後、身元引受人等へ開示し、了承を得た。
（2）家族と利用者間にある利用に関する捉え方の違いを改善して、より深い家族との交流と繋がりを作ります。また家族からの支持、支援体制の継続も図ります。	→ケアプラン作成にあたり、必要に応じて家族との調整を行った。
（3）施設と利用者が共通認識に立った施設運営を目指します。また、家族へは活動面においての協力体制の継続をお願いします。	→コロナ禍にて、家族会等による活動は実施されなかった。
（4）成年後見制度の利用について家族或いは身元引受人と話し合います。	→今年度、成年後見制度を希望される事例はなかった。
６　施設機能の提供	
（1）生活介護並びに短期入所の受入を行います。生活介護並びに短期入所を希望する利用者の受入を積極的に行い、利用者およびその家族の福祉増進に寄与します。	→コロナ禍ではあったが、可能な限り家族の希望に添えるよう、受け入れに努めた。
７　施設事業 各種行事を行事委員会の行事計画に基づき実施し、利用者の気分転換や外出機会の増加に努めます。	→行事計画に基づき、行事等を実施したが、外部での開催が予定された行事には、感染予防を重視し参加しなかった。
８　防災計画 マイトーラ消防計画に基づき、防災管理体制を確立、防災計画により火災予防訓練等を実施します。	→事業計画通り実施した。
９　地域との交流及びボランティアの受け入れ （1）地域交流スペースを地域住民に開放、提供することにより、相互の交流を図ります。 （2）施設内行事の受け入れだけでなく、地域行事等にも参加して地域社会との交流に努めます。 （3）利用者の作品展示等の機会（文化祭等）や、広報「ひまわり」の配布、ホームページ等を利用して地域から理解を得られるよう努めます。 （4）各種団体、個人によるボランティア活動を大切にするとともに新たな個人、団体の受け入れについても幅広く要請していきます。なお、ボランティア受け入れ計画はボランティア委員会事	→感染予防の観点から、ボランティアの受入れを制限せざるを得ない状況であったと同時に地域との交流も積極的に行えなかった。 広報の配布は２回。ホームページでは、行事等の実施状況を報告した。

業計画を参照願います。 １０　職員の研修 　福祉従事者がサービスを提供する場合に留意すべき事は、「人に対する思いやりと介護支援に関する視点」です。利用者が施設の生活にどのように適応し、新たな生活をどう構築するかを利用者とともに考え、実践する能力のある職員が求められています。その事を踏まえ、職員の資質向上と職務に必要な知識・技能の修得を目的とした施設内外の研修を計画的に実施します。	 →事業計画にあげた研修予定に則り、該当する職員を対象に研修へ参加（主に WEB 研修）させ、全職員を対象とした施設内研修は、ビデオ録画等を用い実施した。

Ⅱ【各部所の状況】

１　総務課　事務係

総括を兼ねて報告します。

新型コロナウイルスへの感染を防止することを優先し、利用者さんの安全確保を目的に施設の運営を心掛けた。施設の三大事業である「春の宴」「文化祭」は、家族会役員との協議の上、中止とし、「納涼祭」は、入所者さんと職員だけで楽しめる会を企画し実施した。

施設の運営状況としては、利用者さんの入退所がある中でも、重度高齢化の状況に変わりはなく、病院受診や入院を繰り返す入所者さんが多く、看護係はその対応に力を注いだ一年間であった。その影響が収支の実績にも表れています。また、新型コロナウイルスへの施設内感染を防止するため、利用者さん並びにご家族様には面会制限や外出制限を繰り返しお願いすることがあり、精神的・肉体的負担をお掛けした。

利用者さんからの苦情の申立はなかったが、利用者さん同士のトラブルや利用者さん個人に係る問題点等への対処が難しく、対応に苦慮することがあった。

居室稼働率は、入所希望者との調整が叶わず新規入所に繋げられない事で稼働率は向上できなかった。

職員の動向にいては、新規学卒者の採用はなかったが、中途採用者が４名（内パート２名）あった。ただ、退職した職員もあり、生活支援課の人員不足に変わりはなく、職員募集に努めた一年であった。

その他、設備の入替や新規整備については、施設・設備等の整備状況をご覧ください。

職員の構成（令和５年３月３１日現在）

男性１８名　女性３３名　計５１名（パート含む）

支援員の男女構成（男性１０名　女性２６名）

年齢構成（平均年齢４３．５歳）

２　生活支援課　支援係

（１）今年度の入退所の状況は、退所が南魚沼市４名、魚沼市１名、十日町市１名の計６名であった。内訳は１名が在宅へ、１名が病院へ、１名が施設へ３名が死亡退所であった。

新規入所は、小千谷市３名、十日町市２名、南魚沼市１名、湯沢町１名の計７名であった。空床があるため、精神障害、知的障害の方の受入れも行った。

（２）新型コロナウイルス感染症予防対策として、利用者さんの面会制限や外出制限を行ったが、利用者・職員共に感染者の発生があった。

（３）感染防止を行いながら、スタッフ会議・事故対策会議を定期に開催し、事故防止の考えや利用者支援の意識統一を図った。

（４）コロナ禍のため、講義や研修は、分散しての開催やリモートを利用しての開催で実施した。

（５）苦情解決の状況

今年度、利用者から苦情解決の申出はなかった。

３　生活支援課　支援計画係

（１）サービス等利用計画作成のために聞き取りを行い福祉サービス利用のためのサービス調整を行った。年度当初は、コロナウイルス感染のため、利用者との面会ができず、事業所からの聞き取りを代用し計画作成に反映させた。年度後半は、面会での聞き取りが可能となり、利用者の顔を見ながらの利用計画作成が可能となった。

サービス利用計画更新とモニタリング、合わせて２８件に携わった。

（２）地域生活されている方の計画相談は、他の事業所が行い、入所施設（マイトーラ以外）利用者のサービス等利用計画の作成を行った。

（３）支援計画作成のため、利用者から聞き取りを行い、また他部所からも情報を収集し個別支援計画に反映できるよう努めた。

（４）短期入所、生活介護のみの利用者への面接およびその受入、他事業所との連絡調整を行いスムーズな利用に努めました。

（５）南魚沼市が毎月主催する相談支援事業所連絡会議に参加し、情報の収集、計画立案の技法を習得した。

（６）南魚沼市自立支援協議会に参画し、南魚沼地域の福祉サービス向上に協力した。

４　生活支援課　看護係

（１）利用者全員、健康診断の結果を嘱託医に報告し、外来受診などについて指示を受け治療につなげた。

（２）毎日の健康観察から利用者の異常の早期発見に努めたことで、体調不良時は、通院している外来や病院に早急に連絡をとり、通院や治療につなげることができた。

（３）外来受診時、医師からの説明や助言を利用者個々に合った言葉で伝え、理解して頂けるよう努めた。また、一部の利用者には、血圧測定時等の数値を知らせることで、自分の体調の変化に興味をもってもらうことができた。

（４）職員が利用者に対し、手指消毒やマスク装着、定期的な換気の必要性等を繰り返し話し実行することで協力を得ることができ、施設内での感染拡大を防ぐことができた。また、職員が常時実行している標準予防策に加え、新たな感染予防対策も受け入れ実行することで感染拡大の防止にもつながった。

（５）保健衛生計画を実行したことで、利用者及び職員の健康管理を行うことができた。

インフルエンザウイルスとコロナウイルスのワクチン接種は、協力病院と嘱託医の協力により滞りなく行うことができた。全員ではないが、利用者・職員共にワクチン接種の必要性についての意識は高いと思われる。

（６）コロナウイルス感染対応について

①　施設内外でのコロナウイルス感染者発生時は、施設長を中心とした感染対策会議を速やかに招集し、その後の対応を検討した。(隔離部屋の対応、抗原検査や PCR 検査実施の有無、職員の防護具、利用者の行動等）しかしながら、状況は時事変化する為、利用者及び職員への周知が十分でなかったかもしれない。今後の検討課題とする。

②　利用者発熱時は個室隔離、抗原検査を実施した後、協力病院へ連絡し PCR 検査を受け、コロナウイルス感染の有無を判定した。協力病院の協力により、発熱者の PCR 検査がスムーズに行われたことは、感染者の発見と対応が速やかに行われることにつながり、感染が拡大しなかった大きな要因の一つであったと思われる。

③　利用者 1 日 2 回の検温で発熱者の発見につながったことがあった。今後も継続する。

④　職員やその家族の体調不良時は、速やかに上司へ報告し、その後の指示を受けていた。施設内のおいての感染対策も実行できた。

※　以上①～④を実施したことで、職員やその家族と利用者 2 名（感染時期は重なっていない）にコロナウイルス感染者は出たが施設内で感染拡大することはなかったしかし、コロナウイルス感染者発生時は、利用者の行動制限等で精神的肉体的負担をお掛けしたことは事実である。

（７）利用者の外来受診状況

外来受診者数（延べ人数）606 人であった。脳外科・泌尿器科・外科の順で受診者数が多かったが、精神科外来の受診者数も 35 人と多く今年度の特徴にあげられる。

5　生活支援課　機能訓練係

（１）機能訓練

日中生活介護利用者に対して歩行訓練、筋力増強訓練、関節可動域運動等を実施した。入所利用者に対して関節可動域運動、物理療法、歩行訓練、立位訓練、移乗訓練等を実施した。利用者の訓練は、全体的に維持的な訓練が多い。移乗訓練を行う利用者に対して電動ベットの高さ、車椅子設置方法、足の位置、身体の動き方等を工夫することで、移乗動作がスムーズに行えるようになった。

（２）車椅子のメンテナンス

車椅子のタイヤ、ブレーキ、クッションなどの消耗品の修理・交換を業者に依頼した。新規に入所された利用者の車椅子を発注しました。また、車椅子が身体に合わなくなり作り替える必要が生じた利用者に対しては、車椅子再交付の手続きを行った。

（３）福祉用具の選定

頚部の筋力が低下し、頚椎が損傷する可能性のある利用者に頚椎装具を作成。片麻痺の利用者に下肢装具を作成した。下肢装具を使用することで、歩行訓練が可能となり、本人からも大変喜ばれた。

（４）リハビリテーションマネージメント計画

年３回リハビリテーション実施計画書を作成し、カンファレンスを実施した。新規利用者に対してもリハビリを行う場合、実施計画書を作成し、適切なリハビリの施行に努めた。障害があっても残存機能を生かし、できるだけ本人が能力を維持できるようリハビリを計画し、実施した。

６　生活支援課　給食係

利用者ひとり一人の栄養及び熱量を十分に確保する目的を達成したことで、利用者の年間体重の変動もほとんどなかった。また、嗜好調査の結果を踏まえた献立作　成を心掛け、更に「目で楽しめる食事作り」を心掛けたことで、喫食率も向上し利用者に喜ばれる食事提供ができた。

（１）利用者ひとり一人の栄養及び熱量の十分な確保

嗜好調査、カンファレンス、体重測定などによる情報に加え、直接、食事介助を行うことで利用者の喫食状況や栄養状態を把握することができた。

（２）栄養・マネージメント加算の算定

定期的に手順に沿った見直しを行い、利用者に最適な栄養ケアと食事提供を行った。

（３）適時・適温の食事提供。喫食２時間前調理の徹底

喫食２時間前の調理を徹底し、居室配膳においては例年行っているように配膳車を利用して適温で食事を提供した。

（４）給食職員の衛生管理

手洗い、食品管理、厨房清掃を徹底し、また定期検便も行い食中毒の発生予防に努めたことで、食中毒の発生はみられなかった。また、新型コロナウイルス感染防止対策と

して、厨房職員は作業時、休憩時間のマスク、ゴーグル着用の徹底、発熱等で感染の疑いのある職員が発生した際は、その都度施設に報告し対応について指示を受けた。

（５）行事食（イベント食も含む）を次のとおり実施。

４月	味ごよみ献立、春の特性弁当、お花見献立
５月	子供の日献立
６月	入梅献立、スマイルデザートデイ
７月	七夕献立、土用の丑の日、みんなの日曜日、スマイルデザートデイ
８月	夏祭り献立、納涼祭、お盆献立、みんなの日曜日、スマイルデザートデイ、味ごよみ献立
９月	敬老の日献立、自治会焼肉夕食会、お月見献立
１０月	スポーツの日献立、セレクト献立、味ごよみ献立、ハロウィンメニュー
１１月	秋の実り献立、スマイルデザートデイ
１２月	冬至献立、クリスマス献立、クリスマス忘年会、大晦日献立、年越し献立
１月	お正月献立、七草雑炊、海鮮丼、みんなの日曜日、スマイルデザートデイ
２月	節分恵方巻献立、自治会親睦会、自治会海鮮祭り、みんなの日曜日
３月	ひな祭り献立、お刺身献立、味ごよみ献立、スマイルデザートデイ

（６）調理器具、食器等の入替等

予備ミキサー、作業台２台、小鉢２種類の買い替えを行った。皿については、以前使用していたものとは違うデザイン、違う形のものを購入し、華やかなお膳になるような選定を行なった。

（７）厨房機器、設備の修理

テーブル冷蔵庫内の買い替え。食器洗浄機は、保守契約による年２回の定期点検により大きな故障なく使用できた。

（８）掲示物の作成

献立表を華やかなものにして、献立の内容についても簡単な説明を加えることで、食事に対する利用者の興味をもって頂けるよう努めた。更に、イベント食に際しては、ポスターを作成し、事前告知することで楽しんでイベント食を食べて頂けるよう努めた。

（9）食中毒、非常時対応マニュアル研修

有事に備え、委託事業者と合同で各研修を実施し、マニュアル等の再確認を行った。

（１０）福祉施設業務支援ソフトの活用

福祉施設業務支援ソフトを活用し、他部所との情報の共有、情報の整理と保管を効率的に行い、利用者へのサービス向上に努めた。

7　特定相談支援事業 相談支援センターマイトーラ

（１）サービス等利用計画作成とモニタリング継続計画、併せて２６件あった。

（２）サービス等利用計画作成のための面接や聴き取りを行い、利用者の福祉サービス利

用の調整を行った。ただし、新型コロナウイルス感染予防のため、利用者と面会を行えないケースが多くあり、事業所からの聴き取りを計画作成に反映させた。

（３）職員体制として、相談支援専門員兼務２名、管理者兼務１名で活動した。

（４）南魚沼市が主催し毎月開催する「相談支援事業所連絡会議」に参加し、情報の収集、計画立案の技法等を習得した。

（５）「南魚沼市自立支援協議会」に参画し、南魚沼地域の福祉サービス向上に協力した。

Ⅲ【委員会活動報告】

１　広報委員会

広報誌発行を目的に活気溢れる誌面となるよう、記事および情報の収集を行った。

年２回の広報誌発行。

・発行日　令和４年　４月　第５８号　　　　令和４年１０月　第５９号

配布先

・４市２郡の構成市町村並びに関連社会福祉施設
・役員、評議員
・入所利用者並びにその家族、生活介護並びに短期入所の利用者
・県、関係諸団体、県内外福祉施設、欠之上世帯、他

２　ボランティア委員会

ボランティアの皆さんには、コロナ感染予防のため、会議棟にて清拭タオルたたみを行って頂いた。また、在宅で簡易ごみ箱作りも行って頂いた。

毎月地域のボランティア団体に郵送している「予定表」は、例年通りとし、施設の様子等をお知らせした。

実施事業として

①　中庭の花壇を利用して、「花のガーデニング」を行い、利用者さんに楽しんでいただき、正面玄関には「花のプランター」を設置し、訪れた方々に癒しを提供する活動を行った。

②　ボランティア訪問団体並びに延べ人数。
サークルAmi様、みちの会様、城内ボランティアの会様、幸友グループ様
延べ４０名よりご協力頂いた。

３　虐待防止委員会

施設内での虐待防止に向けて、活動を行った。

①　虐待防止チェックリストによるアンケートを実施（年２回）

アンケートを回収し集計した結果を委員会で検討協議し、取り纏めた結果を職員

へ周知した。
② 今年度、虐待の報告はなかった。

4 防災委員会

施設の防災に関する企画・立案を行い、防災避難訓練等を年間計画に基づき実施した。

① 令和４年６月２９日 総合消防避難訓練（夜間想定）（南魚沼市消防本部立会）避難訓練、消火訓練
令和４年１０月１９日 総合消防避難訓練（夜間想定）（南魚沼市消防本部立会）避難訓練、消火訓練
② 毎月、自主点検表に基づいた建物・設備の点検
③ 救命救急法講習（施設内研修委員会と合同開催）
④ 令和４年９月５日南魚沼市消防本部による立入検査がありましたが、特に指摘事項はなかった。

5 家族会委員会

利用者の家族及び保護者により構成される家族会の運営を補助し、援助することを目的に活動を行った。

① 令和４年度、家族会総会、春の宴、清掃活動等は、新型コロナウイルス感染予防を目的に、家族会会長と協議の上、ほとんどの行事が中止。
② 事業計画・予算及び事業報告・決算書類の作成等し、家族会会員へ送付した。

6 施設内研修委員会

職員の資質向上を目的に研修等を計画し実施した。

① クリーン作戦（５月１１日・１０月１９日）
② 身体拘束について（８月１７日 ３班に分けて）
③ 口腔ケアの重要性について（９月２日）
④ 支援向上研修（９月１４日 講師：業者）
⑤ 感染対策研修（１０月２７日 ３班に分けて）
⑥ 救命救急研修（１１月１８日 ９班に分けて）
⑦ 感染対策実技研修（１月９日）
⑧ 虐待防止研修（１月２７日 新潟県主催 WEB 研修）
⑨ 虐待防止研修（３月３０日 講師：南魚沼市職員）

7 行事委員会

新型コロナウイルス感染対策により、納涼祭、文化祭に関しては、今年度もご家族の参加を断念し、職員による企画運営のみで楽しんで頂けるよう活動した。

【年間行事】

実施日	行事名	人数	内容
4 月	春の宴		コロナウイルス感染予防のため中止。利用者の皆様には、「春の宴弁当」提供し、春を楽しんで頂いた。
8/20	納涼祭	44 名	露店・余興（輪投げ、職員によるソーラン踊り）を楽しんで頂いた。花火は雨のため延期。10/11 に打ち上げを行った。
10 月	文化祭		模擬店、作品展示、アトラクション、バザー等を行う予定であったが、コロナウイルス感染予防のため中止。利用者の皆さんに楽しんで頂けるようセレクトメニューを企画実施した。
12/21	クリスマス忘年会	47 名	感染予防のため、会場設営は行なわず、各居室にてケーキを食べて頂き、プレゼントも配布した。
1/1～4	お正月（三が日行事）	46 名	1 日にガラポン抽選会・獅子舞い ２・３・４日に初風呂。また、年末に希望者のみ、ご家族へ年賀状を作成し郵送した。

※　納涼祭や文化祭には、ご家族や地域の方々、ボランティアさんにも参加頂く予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大等により、利用者と職員のみで開催した。

【誕生日昼食外出】

R4/4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	R5/1 月	2 月	3 月
3 名	8 名	0 名	4 名	4 名	7 名	5 名	2 名	4 名	4 名	2 名	5 名

※　誕生日に外食（昼食）や買い物をしながら外出を楽しんで頂いた。
外食が困難な利用者には、品物を贈ることで対応した。

8　施設外交流委員会

新潟県身体障害者施設協議会主催の交流会は、新型コロナウイルス感染予防のため主催者の意向で、全て中止となった。

実施日	行事名	参加人数	会場
中止	県身協主催オセロ交流会		
中止	県身協主催スポーツ交流会		

9　実習委員会

今年度、近郊の高等学校、中学校より施設見学並びに交流体験、職場体験等の依頼がな

く、活動の報告に至らなかった。

１０　事故対策委員会

毎月開催している「スタッフ会議」終了後、事故報告書を基に事故内容の詳細を確認し検討協議の上、事故防止並びに事故の再発防止に努めた。

また、検証・協議後、次回開催のスタッフ会議にてその報告を行った。

①　今年度は、ヒヤリ・ハットを含め、１３２件の報告がありました。この件数は、ヒヤリ・ハットの報告を些細な部分まで報告を求めたことによるもの。

②　新潟県に報告した事故（骨折）は１件でした。

Ⅳ【施設・設備等の整備状況】

１　設備・備品等の新規購入及び入替

［入替］

①　テーブル型冷蔵庫

［新規購入］

①　加湿器　②　感染対策間仕切り　③　車椅子

２　廃棄資産

［器具備品］

①　冷蔵コールドテーブル

Ⅴ【職員研修の成果】

１　介護福祉士国家試験合格者　２名